

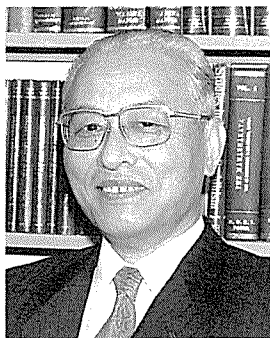


著作目録（塚本啓祥）

著者	東北大学史料館
号	488
発行年	1993-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065305

塚本啓祥教授著作目録

平成5年3月
東北大学記念資料室
(著作目録第488号)



塚 本 啓 祥 教 授 略 歴

生年月日 昭和4年7月24日生
本 籍 地 熊本県
出 生 地 XXXXXXXXXX

学 歴

昭和28年3月 熊本大学法学部哲学科卒業
昭和30年3月 立正大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程修了
昭和39年3月 東北大学大学院文学研究科印度学仏教史学専攻博士課程修了

学 位

昭和39年3月 文学博士（東北大学）

受 賞

昭和36年7月 第4回日本印度学仏教学会賞
昭和41年10月 第1回日本宗教学会賞
昭和57年10月 第1回坂本日深学術賞（立正大学法華経文化研究所）

職 歴

昭和34年4月 立正大学仏教学部講師
昭和37年4月 立正大学仏教学部助教授
昭和38年7月 熊本大学法学部非常勤講師（昭和39年3月まで）
昭和41年4月 立正女子大学非常勤講師（昭和48年3月31日まで）
昭和41年6月 立正大学法華経文化研究所研究副部長（昭和48年5月まで）
昭和43年4月 立正大学仏教学部教授

昭和46年 1月	東北大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和47年 3月まで）
昭和46年 7月	熊本大学法文学部非常勤講師（昭和47年 3月まで）
昭和47年 6月	東北大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和48年 3月まで）
昭和48年 4月	立正大学大学院文学研究科委員，修士課程担当（M㊤）
昭和48年 6月	立正大学法華経文化研究所研究部長（昭和55年 3月まで）
昭和48年11月	東北大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和49年 3月まで）
昭和50年 4月	立正大学仏教学部仏教学科主任（昭和51年 3月まで）
昭和50年 4月	立正大学大学院文学研究科博士課程担当（D合）
昭和50年 4月	九州大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和51年 3月まで）
昭和51年 4月	立正大学大学院文学研究科博士課程教授（D㊤）
昭和51年 4月	立正大学仏教学部長（昭和55年 3月まで）
昭和51年 4月	立正大学全学協議会委員（昭和55年 3月31日まで）
昭和51年 4月	東京大学文学部非常勤講師（昭和52年 3月まで）
昭和51年 6月	立正大学学園評議員（昭和52年 5月まで）
昭和52年 4月	熊本大学法文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和53年 3月まで）
昭和52年 6月	立正大学学園理事（昭和55年 3月まで）
昭和55年 3月	立正大学仏教学部教授退職
昭和55年 4月	東北大学文学部教授，印度仏教史講座担任（現在に至る）
昭和55年 4月	東北大学大学院文学研究科担当（現在に至る）
昭和55年 4月	立正大学仏教学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和62年 3月まで）
昭和55年 4月	立正大学法華経文化研究所顧問（現在に至る）
昭和56年 4月	京都大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和57年 3月まで）
昭和56年 5月	岩手大学人文社会学部非常勤講師（昭和57年 3月まで）
昭和57年 4月	東北大学文学部印度哲学講座兼任（平成元年 8月まで）
昭和57年 4月	東北大学教養部非常勤講師（昭和58年 3月まで）
昭和57年11月	東北大学付属図書館商議員（昭和58年 3月まで）
昭和58年 4月	立正大学日蓮教学研究所客員所員（現在に至る）
昭和58年 4月	北海道大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（昭和58年 9月まで）
昭和60年 4月	高野山大学大学院非常勤講師（昭和60年 9月まで）
昭和62年 4月	立正大学大学院非常勤講師（現在に至る）
昭和63年 4月	熊本大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（平成元年 3月まで）
平成元年 4月	東北大学教養部兼務（現在に至る）
平成 2年 4月	金沢大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（平成 2年10月まで）
平成 3年 4月	信州大学文学部非常勤講師（平成 4年 3月まで）
平成 4年 4月	法政大学文学部非常勤講師（現在に至る）
平成 4年 4月	北海道大学文学部非常勤講師，大学院文学研究科兼任（平成 5年 3月まで）

学会ならびに社会における活動

昭和47年 3月	インド・ネパールの仏蹟調査
昭和47年 4月	日本印度学仏教学会評議員（現在に至る）

昭和47年11月～48年2月 スリランカ・インド・ネパール・アフガニスタン・パキスタンの
 仏蹟調査

昭和51年4月 日本印度学仏教学会理事（現在に至る）

昭和51年4月 立正大学仏教学会会長（昭和55年3月まで）

昭和51年9月 パキスタン・アフガニスタンの仏蹟調査

昭和54年11月 日本宗教学会評議員（現在に至る）

昭和56年4月 日本仏教学会理事（現在に至る）

昭和56年5月 東北印度学宗教学会理事長（昭和61年5月まで）

昭和58年10月 日本宗教学会理事（現在に至る）

昭和60年2月 日本学術会議会員候補者推薦人（日本仏教学会選出の学研連の推薦人）

昭和60年4月 仏教思想学会理事・評議員（現在に至る）

昭和60年5月 東北印度学宗教学会会長代行（昭和61年5月まで）

昭和60年10月 立正大学仏教学会評議員（現在に至る）

昭和61年5月 東北印度学宗教学会会長（昭和63年5月20日まで）

昭和62年4月 韓国東国大学校訪問・仏教史蹟調査

昭和62年8月 アメリカ合衆国スタンフォード大学における第26回国際自由宗教連盟世界大
 会、カリフォルニア大学バークレイ校における第8回国際仏教学会・第3回
 仏教とキリスト教の対話に出席

昭和63年5月 印度学宗教学会（東北印度学宗教学会を改称）会長・理事・評議員（現在に
 至る）

昭和63年9月～10月 中華人民共和国北京大学南アジア研究所訪問・仏教史蹟調査

昭和63年10月 日本南アジア学会理事（現在に至る）

昭和63年12月 情報知識学会・人文社会系部会「テキスト・データベース連絡委員会」委員
 （現在に至る）

平成元年9月 東方学会評議員（現在に至る）

平成元年9月～10月 西ドイツ・ロクムにおける「宗教間の対話」に関する国際研究会に
 出席、連合王国におけるサンスクリット写本の資料調査

平成2年5月 テキスト・データベース研究会幹事（現在に至る）

平成2年5月 パーリ学仏教文化学会理事（現在に至る）

平成2年7月 テキスト・データベース研究会（JACH）幹事（現在に至る）

平成2年11月 オーストラリア国立大学（キャンベラ）における「コンピュータによる仏教
 研究」に関する研究会に出席、インドネシアの仏教史蹟調査

平成2年11月 比較思想学会宮城支部代表（平成4年11月まで）

平成3年1月 日本学術会議会員候補者推薦人（印度学宗教学会選出の宗教学研連の推薦人）

平成3年12月 テキスト・データベース研究会（JACH）代表（現在に至る）

平成4年9月 中華人民共和国における仏教史蹟調査

著 作 目 録

編書（編著書）、著書、共著書

1. 『初期仏教団史の研究 一派の形成に関する文化史的考察』
山喜房仏書林，昭和41年 3 月
2. 『仏教史概説・インド篇』[共著] 平楽寺書店，昭和41年11月
3. 『仏陀』 教育新潮社，昭和44年 3 月
4. G・ウッドコック『古代インドとギリシア文化』[共訳注]
平楽寺書店，昭和47年 3 月
5. 『アショーク王』（サーラ叢書21） 平楽寺書店，昭和48年 2 月
6. 『アショーク王碑文』（レグルス文庫54）
第三文明社，昭和51年 1 月
7. 『仏教史入門』（レグルス文庫62）
第三文明社，昭和51年 7 月
8. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.I [共編]
梵文法華經刊行会，昭和52年12月
9. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.II [共編]
梵文法華經刊行会，昭和53年 4 月
10. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.III [共編]
梵文法華經刊行会，昭和53年 4 月
11. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.IV [共編]
梵文法華經刊行会，昭和53年10月
12. 昭和52－53年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書
『法華經文化形成の背景と基盤』[研究代表者・塚本啓祥]
立正大学仏教学部，昭和54年 3 月
13. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.V [共編]
梵文法華經刊行会，昭和54年 4 月
14. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.VI [共編]
梵文法華經刊行会，昭和54年12月

15. 『改訂増補・初期仏教教団史の研究』
山喜房仏書林，昭和55年2月
16. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.VII [共編]
梵文法華經刊行会，昭和55年4月
17. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.VIII [共編]
梵文法華經刊行会，昭和55年12月
18. 『仏教思想史』3ー仏教内部における対論*インドー [共編] 平楽寺書店，
昭和55年12月
19. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.IX [共編]
梵文法華經刊行会，昭和56年4月
20. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.X [共編]
梵文法華經刊行会，昭和56年12月
21. 『法華經の文化と基盤』[編著] 平楽寺書店，昭和57年2月
22. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.XI [共編]
梵文法華經刊行会，昭和57年4月
23. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia* (『梵文法華經写本集成』), Vol.XII [共編]
梵文法華經刊行会，昭和57年12月
24. 昭和56-58年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書
『梵語仏典の包括的研究』[研究代表者・塚本啓祥]
東北大学文学部，昭和59年12月
25. 『法華經の成立と背景ーインド文化と大乘仏教』
佼成出版社，昭和61年7月
26. ドゥ・ヨング『インド文化研究史論集』[訳]
平楽寺書店，昭和61年7月
27. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia, Romanized Text and Index* (『梵文法華經写本集成ーローマ字本・索引』 Vol. 1 [共著]
梵文法華經研究会，昭和61年9月

28. *Sanskrit Manuscripts of Saddharmapundarika, Collected from Nepal, Kashmir and Central Asia, Romanized Text and Index* (『梵文法華經写本集成－ローマ字本・索引』 Vol.2 [共著]
梵文法華經研究会, 昭和63年 9 月
29. 『梵語仏典の研究Ⅳ・密教經典篇』[共編著]
平樂寺書店, 平成元年 2 月
30. 東北大学特定領域横断研究組織 (TURNS) No.017報告書 (1)
『サンスクリット・チベット語文献のコンピュータによる総合的研究』
[研究代表者・塚本啓祥] 東北大学文学部, 平成元年 3 月
31. 『梵語仏典の研究Ⅲ・論書篇』[共編著]
平樂寺書店, 平成 2 年 2 月
32. 東北大学特定領域横断研究組織 (TURNS) No.017報告書 (2)
『サンスクリット・チベット語文献のコンピュータによる総合的研究』
[研究代表者・塚本啓祥] 東北大学文学部, 平成 2 年 3 月
33. 『梵語仏典の研究Ⅰ・初期經典篇』[共編著]
平樂寺書店, 平成 3 年 2 月
34. 平成元～2 年度科学研究費補助金 (総合研究 A) 研究成果報告書
『仏教伝播史における諸派の形成とその基盤』
[研究代表者・塚本啓祥] 東北大学文学部, 平成 3 年 3 月
35. 東北大学特定領域横断研究組織 (TURNS) No. 017報告書 (3)
『サンスクリット・チベット語文献のコンピュータによる総合的研究』
[研究代表者・塚本啓祥] 東北大学文学部, 平成 3 年 3 月
36. 『コンピュータによる仏教文献の研究』(東北大学－IBM パートナシッププログラム研究報告書) [編著]
東北大学－日本アイ・ビー・エム株式会社, 平成 3 年12月
37. 『梵語仏典の研究Ⅱ・大乘經典篇』[共編著]
平樂寺書店, 平成 4 年 2 月
38. 『梵語仏典の研究Ⅴ・形態論篇・総索引』[共編著]
平樂寺書店, 平成 5 年 2 月

論文, 共著論文 * () = 再掲載

1. 存在の能統一としての「信」について
『大崎学報』103, 昭和30年6月
2. 正法華経における成立史的問題 — 梵志品を中心として —
『宗教研究』146, 昭和30年12月
3. アショーク刻文における一問題
— サールナート法勅と法大官の関係 —
『印度学仏教学研究』5-1, 昭和32年1月
4. コーサンビー抗争の由来に関する問題点
『印度学仏教学研究』7-2, 昭和34年3月
5. 仏滅年代に関する問題点
『印度学仏教学研究』8-2, 昭和35年3月
6. 仏滅年代の資料
『宗教研究』163, 昭和35年3月
7. 部派研究の資料としてのインスクリプション
『大崎学報』112, 昭和35年12月) 『大崎学報』112
8. インスクリプションと部派
『印度学仏教学研究』9-1, 昭和36年1月
9. Mahākāśyapa's Precedence to Ānanda in the Rājagṛha Council
『印度学仏教学研究』11-2, 昭和38年3月
10. マガダ王統史考(1)
『大崎学報』117, 昭和38年12月
11. マガダ王統史考(2)
『大崎学報』118, 昭和39年10月
12. 大天の伝承と僧伽の抗争
『印度学仏教学研究』13-1, 昭和40年1月
13. 初期仏教における行の形態
『日本仏教学会年報』30, 昭和40年3月
- (13) 初期仏教における行の形態
『仏教における行の形態』平楽寺書店, 昭和40年3月
14. インド社会と法華経の交渉 — dharmabhāṇaka に関連して —
坂本幸男編『法華経の思想と文化』平楽寺書店, 昭和40年3月

15. マガダ王統史考（3）
『大崎学報』120, 昭和40年7月
16. インド思想の展開
『倫理と社会』第3巻「東洋と日本の倫理思想」
日本評論社, 昭和40年11月
17. Kandahār 出土の Aśoka 法勅（その一）
ーギリシャ語銘文覚え書ー
『金倉博士古稀記念・印度学仏教学論集』
平楽寺書店, 昭和41年10月
18. マハーラーシュトラの仏教（1）
『仏教史学』13-3, 昭和42年11月
19. 欧米人の日蓮観
ー G. Renondeau と W. Kohler の研究を中心としてー
望月敏厚編『近代日本の法華仏教』
平楽寺書店, 昭和43年3月
20. The Buddhist Schools in Mahārāṣṭra（1）
『立正大学インド研究所紀要』1, 昭和43年11月
21. インドのカースト
『目でみる大世界史』第1巻「集団は社会を生む（社会）」
国際情報社, 昭和44年9月
22. 仏伝の素材と構成（1）ー小乗涅槃経に関連してー
『三蔵』6, 昭和44年9月
23. 仏伝の素材と構成（2）ー小乗涅槃経に関連してー
『三蔵』7, 昭和44年10月
24. 仏伝の素材と構成（3）ー小乗涅槃経に関連してー
『三蔵』8, 昭和44年11月
25. Kandahār 出土の Aśoka 法勅（その二）
ー Aśoka のギリシャ人対策に関連してー
『印度学仏教学研究』18-1, 昭和44年12月
26. 提婆品の成立と背景
金倉圓照編『法華経の成立と展開』
平楽寺書店, 昭和45年3月
27. アショーカ王のダルマの政策について
『宗教研究』202, 昭和45年3月
28. マウルヤ王朝期の社会と仏教
『日本仏教学会年報』35, 昭和45年3月

- (28) マウルヤ王朝期の社会と仏教
『仏教と社会の諸問題』 平楽寺書店, 昭和45年10月
- 29. アショーク王の七種の法門に関連して
『仏教研究』国際仏教徒協会・創刊号, 昭和45年12月
- 30. バガヴァッド・ギーターにおける“sāṃkhya”の語義について
『印度学仏教学研究』19-1, 昭和45年12月
- 31. カウティルヤ「実利論」とアショーク法勅の関係
『大崎学报』125/126, 昭和46年7月
- 32. “蓮華”のインド的意味
『Lotus』4, 昭和46年7月
- 33. 大智度論と法華経 ―成立と翻訳に関連して―
坂本幸男編『法華経の中国的展開』
平楽寺書店, 昭和47年3月
- 34. インドにおける人間像
水島恵一他編『人間論』 社会思想社, 昭和47年4月
- 35. アショーク時代の仏教史研究の問題点
『佐藤博士古稀記念・仏教思想論叢』
山喜房仏書林, 昭和47年10月
- 36. 法華経の原典と翻訳
『講座・日蓮』第1巻「日蓮と法華経」
春秋社, 昭和47年10月
- 37. 実践論 ―菩提行道―
『講座・日蓮』第1巻「日蓮と法華経」
春秋社, 昭和47年10月
- 38. インドにおける伝承
『講座・日蓮』第1巻「日蓮と法華経」
春秋社, 昭和47年10月
- 39. 仏教遺蹟調査報告(1) [共著]
『法華文化』24, 昭和48年3月
- 40. 仏教遺蹟調査報告(2) [共著]
『法華文化』25, 昭和48年9月
- 41. 日本人の宗教
水島恵一他編『日本人の思想と行動』
協同出版, 昭和48年12月

42. 仏教遺蹟調査報告（3）〔共著〕
『法華文化』26, 昭和49年2月
43. 南インド仏教史の問題点
『印度学仏教学研究』22-2, 昭和49年3月
44. 正法受持と日蓮の立場 —法身観展開の一面—
『茂田井先生古稀記念・日蓮教学の諸問題』
平楽寺書店, 昭和49年12月
45. インドにおける仏教伽藍の形成
『法華文化研究』創刊号, 昭和50年3月
- (22-24) 仏伝の素材と構成（1-3） —小乗涅槃經に関連して—
『国訳一切經』三蔵集・第一輯
大東出版社, 昭和50年10月
46. アショーク王碑文雑考
『大崎学報』128, 昭和51年3月
47. Kandahar 出土のアショーク法勅（その三）
—第2・第3法勅の覚え書—
『法華文化研究』2, 昭和51年3月
48. インドにおける仏塔信仰と法華經の交渉
野村耀昌編『法華信仰の諸形態』
平楽寺書店, 昭和51年3月
49. 根本仏教とは何か《総括編》
中央学術研究所編『シンポジウム仏教』第1巻「根本仏教」
佼成出版社, 昭和51年11月
50. 法華經陀羅尼呪の覚え書
『法華文化研究』4, 昭和53年3月
51. 蓮華生・蓮華座とマハーバーラタの関係
昭和51-52年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書
『法華經形成の思想史的背景とその展開』
〔研究代表者・中村瑞隆〕
立正大学仏教学部, 昭和53年3月
52. 西北インドの歴史と仏教
昭和52-53年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書
『法華經文化形成の背景と基盤』〔研究代表者・塚本啓祥〕
立正大学仏教学部, 昭和54年3月
53. 蓮華生と蓮華座
『印度学仏教学研究』28-1, 昭和54年12月

54. [写真監修] 『印度』第1巻「仏陀の道」
毎日コミュニケーションズ, 昭和55年1月
55. [写真監修] 『印度』第2巻「刻まれた祈り」
毎日コミュニケーションズ, 昭和55年1月
56. [インドの] 歴史 『印度』第3巻「豊饒の世界」
毎日コミュニケーションズ, 昭和55年1月
57. 蓮華生・蓮華座の源流と展開
中村瑞隆編『法華経の思想と基盤』
平楽寺書店, 昭和55年3月
58. インドにおける仏教伽藍の形成とその背景
『仏教文化』9, 昭和55年4月
59. 法華経に現われる信
『仏教学』9／10, 昭和55年10月
- (59) 法華経に現われる信
平川彰編『仏教と心の問題』
山喜房仏書林, 昭和55年10月
60. 初期仏教における持法者と持律者の論争
『仏教思想史』3, 昭和55年12月
61. 上座部教団史研究の問題点
『印度学仏教学研究』29－2, 昭和56年3月
62. 法華経の時間論
昭和53－55年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書
『法華仏教における仏陀論・衆生論の展開に関する研究』
[研究代表者・渡辺宝陽]
立正大学仏教学部, 昭和56年3月
63. 大乘仏教経典における幸福の追求
昭和53－55年度科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書
『仏教における幸福の追求』[研究代表者・村上真完]
東北大学文学部, 昭和56年3月
64. インドにおける法華経観－法華経の成立と信奉－
『理想』581, 昭和56年10月
65. 大乘の教団
『講座・大乘仏教』第1巻「大乘仏教とは何か」
春秋社, 昭和56年10月

66. 西北インドの歴史と仏教－法華経成立の文化史的基盤－
塚本啓祥編『法華経の文化と基盤』
平楽寺書店，昭和57年2月
67. アショーク王の時代
『図説・日本仏教の原像－インド・中国・朝鮮－』
法蔵館，昭和57年3月
68. 欧米人の日蓮観
『仏教思想と近代』
立正大学共同研究委員会，昭和57年3月
69. 法華一乗思想形成の文化史的基盤－統一の論理と実践－
『大崎学報』135，昭和57年3月
70. 仏教哲学からみた生命観
『真理と創造』19，昭和57年6月
71. 「解脱」と「救済」の位相と統一
－タクシラにみる宗教の種々相－
『東北印度学宗教学会・論集』9，昭和57年12月
72. 仏教・ジャイナ教の発生基盤とその形成〔要旨〕
『宗教研究』255，昭和58年3月
73. 仏教・ジャイナ教の発生基盤とその形成
『東北大学文学部研究年報』32，昭和58年3月
74. 日蓮の教学的論理－文献の実証と体験の実証－
『宮崎英修先生古稀記念・日蓮教団の諸問題』
平楽寺書店，昭和58年6月
- (71) 「解脱」と「救済」の位相と統一
－タクシラにみる宗教の種々相－
楠正弘編『解脱と救済』平楽寺書店，昭和58年9月
75. アンダカ派の形成について
『印度学仏教学研究』32－1，昭和58年12月
76. 部派仏教における時機観
『日本仏教学会年報』42，昭和59年3月
77. 部派の成立
『東洋学研究』23－1，昭和59年5月
78. 1983年の歴史学会－回顧と展望－「南アジア・インド（古代）」
『史学雑誌』93－5，昭和59年5月
79. 原始仏教
平川彰編『仏教研究入門』大蔵出版，昭和59年6月

80. 部派仏教における心 ―心・心所の関係を中心として―
 仏教思想 9『心』 平楽寺書店, 昭和59年10月
- (76) 部派仏教における時機観
 『仏教における時機観』 平楽寺書店, 昭和59年10月
81. アンダカ派の形成と展開 (その一) ―制多山部の成立―
 『壬生台舜博士頌寿記念・仏教の歴史と思想』
 大蔵出版, 昭和60年2月
82. アンダカ派の形成と展開 (その二)
 ―東山部と西山部の成立過程―
 『中村瑞隆博士古稀記念論集・仏教学論集』
 春秋社, 昭和60年2月
83. 法華経讃頌の覚え書
 『法華文化研究』11, 昭和60年3月
84. 法華経の時間論
 渡辺宝陽編『法華仏教の仏陀論と衆生論』
 平楽寺書店, 昭和60年9月
85. 宗教研究の現状と課題 ―印度学・仏教学―
 中央学術研究所, 昭和60年9月
86. アンダカ派の形成と他派との論争 ―一念処論を中心として―
 『雲井昭善博士古稀記念・仏教と異宗教』
 平楽寺書店, 昭和60年12月
87. 大乘仏教発生期のガンダーラにおける文化・宗教の融合とその基盤 (上)
 『日本文化研究所研究報告』22, 昭和61年3月
88. コンピュータによる梵文法華経写本の研究とその意義
 『東北大学情報処理教育センター年報』5, 昭和61年11月
89. 大乘仏教発生期のガンダーラにおける文化・宗教の融合とその基盤 (下)
 『日本文化研究所研究報告』23, 昭和62年2月
90. 梵文法華経写本の研究
 『法華文化研究』13, 昭和62年3月
91. 西北インドの貨幣に現われた宗教・文化の融合
 『野村耀昌博士古稀記念論集・仏教史仏教学論集』
 春秋社, 昭和62年4月
92. Buddhist Sanskrit Studies by Computer : A Tohoku University Project
 ―Part I. General Introduction to Buddhist Sanskrit Studies―
 『東北大学文学部研究年報』37, 昭和63年3月

93. 部派仏教における輪廻と相続
『成田山仏教研究所紀要』11・特別号『仏教思想史論集』Ⅰ，昭和63年3月
94. 沙門思想成立の基盤
昭和61－62年度科学研究費補助金（総合研究A）研究成果報告書
『Śramaṇa（沙門）の成立・展開ならびに思想の総合的研究－仏教とジャイナ教との比較研究－』
[研究代表者・石上善応]
大正大学仏教学部，昭和63年3月
95. サンスクリット文献のコンピュータによる総合的研究
－東北大学プロジェクト－
Ⅰ．サンスクリット法華經写本集成の語彙検索
日本印度学仏教学会第39回学術大会・シンポジウム『インド学仏教学におけるコンピュータ利用の現状と問題点』（レジュメ）北海道大学文学部
印度哲学研究室，昭和63年7月
96. コンピュータによる仏教混淆梵語の研究（1）
－仏教混淆梵語の研究の問題点－
『印度学仏教学研究』37－2，平成元年3月
97. インド文字の形成と展開
東北大学特定領域横断研究組織（TURNS）No.017報告書（1）
『サンスクリット・チベット語文献のコンピュータによる総合的研究』[研究代表者・塚本啓祥]
東北大学文学部，平成元年3月
98. コンピュータによる『法華經』研究
『人文科学データベース研究』3.1989－春，平成元年5月
99. インド哲学研究におけるコンピュータの利用
『南アジア研究』第1号，平成元年10月
100. 教団論
『岩波講座・東洋思想』第10巻「インド仏教3」
岩波書店，平成元年10月
101. 初期・部派仏教の時代
『仏教文化事典』 佼成出版社，平成元年10月
102. アンダカ派の形成と展開（その三）－王山部と義成部の成立－
『藤田宏達博士還暦記念論集・インド哲学と仏教』
平楽寺書店，平成元年11月

103. 上座部教団史研究の問題点と課題
『水野弘元博士米寿記念論集・パーリ文化学の世界』
春秋社, 平成2年6月
104. 仏教研究とコンピュータ [共著]
—人文科学とコンピュータ研究報告No.6, 1—
『情報処理学会研究報告』Vol.90, No.72, 平成2年9月
105. ナーガールジュナコンダの仏教部派
『印度学仏教学研究』39-1, 平成2年12月
106. 法華経統一思想の基盤 —源流と展開—
『中央学術研究所紀要』19, 平成2年12月
107. 序論 初期經典の成立
塚本・松長・磯田共編著『梵語仏典の研究Ⅰ 初期經典篇』
平楽寺書店, 平成3年2月
108. Nāgārjunakoṇḍa 仏教碑銘
『東北大学文学部研究年報』40, 平成3年3月
109. 部派仏教の形成 — Andhra 仏教碑銘雜録—
平成元-2年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書
『仏教伝播史における諸派の形成とその基盤』
[研究代表者・塚本啓祥] 東北大学文学部, 平成3年3月
110. Buddhist Studies by Computer
東北大学特定領域横断研究組織(TURNS) No.017報告書(3)
『サンスクリット・チベット語文献のコンピュータによる
総合的研究』 [研究代表者・塚本啓祥]
東北大学文学部, 平成3年3月
111. アマラーヴァティの仏教部派
『伊原照蓮先生古稀記念論文集』
伊原照蓮先生古稀記念会, 平成3年8月
112. 部派仏教における仏陀論
『鏡海法印申正午博士華甲記念・仏教思想論集』
鏡海法印申正午博士華甲記念会, 1991年10月
113. 部派仏教における人間観
東北大学印度学研究室同窓会編『東北大学印度学講座六十五周年記念論
集・インド思想における人間観』
平楽寺書店, 平成3年12月
114. 序論 大乘經典の成立
塚本・松長・磯田共編著『梵語仏典の研究Ⅱ 大乘經典篇』
平楽寺書店, 平成4年2月

115. 仏教の批判的研究の萌芽と展開
『東北大学日本文化研究所研究報告』28, 平成4年3月
116. Amarāvati 仏教碑銘
『成田山仏教研究所紀要』15・特別号『仏教文化史論集』Ⅱ, 平成4年3月
117. 輪廻を超える生 ―原始仏教における生死―
・ 『人間, その生と死』
東北大学教育学部大学教育開放センター, 平成4年9月
118. 文字の形態
塚本・松長・磯田共編著『梵語仏典の研究 形態論篇』
平楽寺書店, 平成5年2月
119. コンピュータの利用 [共著]
塚本・松長・磯田共編著『梵語仏典の研究 形態論篇』
平楽寺書店, 平成5年2月
120. 古代インド社会における長老の機能
『東北大学日本文化研究所研究報告』29, 平成5年3月

書評・その他

1. 『倫理と社会・辞典』26項目
日本評論社, 昭和43年3月
2. 『世界文化社大百科辞典ジュビター』46項目
世界文化社, 昭和47年5月
3. 書評: 稲荷日宣著『法華経一乗思想の研究』
『鈴木学術財団・研究年報』12/13, 昭和51年10月
4. 書評: 山崎元一『アショカ王伝説の研究』
『史学雑誌』88-12, 昭和54年12月
5. 書評: N.Mantri, *The Lotus Sutra, a New Interpretation*
『法華文化研究』5/6, 昭和55年3月
6. 『岩波仏教辞典』32項目
岩波書店, 平成元年12月

